

▶著者紹介

西谷 敏 (にしたに さとし)

1943年 神戸市生まれ
1966年 京都大学法学部卒業
1971年 京都大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学
1971～2007年 大阪市立大学法学部（法学研究科）勤務
2007～2010年 近畿大学法科大学院勤務
現在 大阪市立大学名誉教授
法学博士，フライブルク大学名誉博士

[主要単著]

『ドイツ労働法思想史論——集団的労働法における個人・団体・国家』（1987年，日本評論社）
『労働法における個人と集団』（1992年，有斐閣）
『ゆとり社会の条件——日本とドイツの労働者権』（1992年，労働旬報社）
『労働組合法』（有斐閣）[初版] 1998年，[第2版] 2006年，[第3版] 2012年
“Vergleichende Einführung in das japanische Arbeitsrecht” (2003, Carl Heymanns Verlag)
『規制が支える自己決定——労働法的規制システムの再構築』（2004年，法律文化社）
『労働法』（日本評論社）[初版] 2008年，[第2版] 2013年
『人権としてのディーセントワーク——働きがいのある人間らしい仕事』（2011年，旬報社）